

<プレ・インターンシップって何ですか？>

インターンシップは、3年生で体験する学生が大半ですが、本学では、大学1年生を対象とした就業体験を実施しています。

受入先は地元企業や団体にご協力いただいています。

なお、本学のプレ・インターンシップは、単位認定（1単位）科目として開設されています。正課科目を通して教職員の丁寧なサポートが受けられ、安心して体験することができます。

<1年生の早い時期にプレ・インターンシップを体験することで得られること>

(1) 社会を知り“働くこと”への不安を軽減！

早期に社会のしくみや人と人との繋がりを学ぶことで、“働くこと”に対する心構えができ、将来への不安を軽減することができます。

(2) 自分を知り、さらなる成長を目指す！

履修を通して自身の課題に気づき、その後の学生生活の中でじっくり課題改善に取り組むことができます。

(3) 学科の垣根を越え、多様な価値観に触れる！

4学科全ての学生が履修対象のため、他学科の学生とのディスカッションや協働の機会を通して多様な価値観に触れることができ、視野が広がります。

<2021年度実施概要>

【実施期間】

夏休み期間に5日間(履修単位1単位)

※保険加入必須

<履修生の声>

1. 事前・事後研修

- ・電話対応や名刺の受け取り方練習で不安が解消できた。
- ・事後研修では体験で得たことを改めて認識することができた。
- ・研修やアンケートの中で自分と向き合い、自分を知ることにつながった。

2. ブロック研修

- ・ブロックを使って自分の気持ちを表現するのは新鮮だった。
- ・自分では感じていなかった潜在意識がブロックに表れて、自分の知らない自分を知ることができて面白かった。
- ・ブロックで何となく組み立てたものを説明することで、自分で気付かなかった考えに気付くことができた。

3. インターンシップ報告会

- ・グループで報告会の準備をすることにより協調性が高まった。
- ・発表することで積極性が身についた。
- ・他者に自分の考えや思いを自分の言葉で伝える練習になった。
- ・他の学生の体験内容を聞くことで、自分の振り返りや新たな課題発見につながった。

<先輩と受入先コメント>

◆人間社会学部 公共社会学科 3年 堀江 香里 さん

【体験先：株式会社麻生情報システム】

<コメント>

麻生情報システムの飯塚事業所で事務作業や小・中学校の授業支援を行うための業務等を体験させていただきました。

体験中、1つの作業が終わった後に、次の作業を聞くことに戸惑ってしまったことから、積極性がまだ身につけていないことに気づきました。そのため今後の学生生活の中では、自ら質問することを意識していきたいと思います。

また、社員の方との会話を通して、働くことに対して受け身になっていたと自覚しました。まずは人の真似をすることからでも学ぶことは大いにありと教えていただき、意識して周囲を観察するようになりました。

<受入先コメント>

徐々に相手の立場を踏まえて考え、行動する力が伸びたと思います。元々の潜在能力が、社会人と接することで開花したように感じました。

また、受け入れる側としても、若い方の意見や今興味を持っていることなど、生の声を聞くことができ、情報収集の良い機会となりました。

◆人間社会学部 公共社会学科 3年 丸本 桃夏 さん

【体験先：飯塚商工会議所】

<コメント>

私は飯塚商工会議所で、電話対応やイベントの同行、資料作りなどを体験させていただきました。

電話対応では、「笑顔で対応すると良いよ」と担当の方からアドバイスをいただき、実践してみると、リラックスして電話をとることができました。

今回の体験を通して、仕事を楽しむ姿勢がお客様の満足につながることを学びました。仕事を好きだと感じられれば、仕事を楽しむことができると思うので、自分の好きな分野を広げたいと考えています。今後は、大学の授業では話を聞くだけでなく、常に疑問点を探し、その疑問を解決することを課題にしていきます。

<受入先コメント>

とても元気な学生さんで、電話対応をしてもらった際も全く物怖じすることなく、たくましく感じました。体験を通じて問題に対し、考えるだけではなく、アプローチする様子が見られました。

商工会議所がどんなことをしているのか、多くの学生さんが知らないと思うので、それを知ってもらえることは受け入れのメリットだと思います。